

## 文教民生委員会

**質** 能代市地域包括支援センターの運営業務委託について、設置場所は行政区画にとられず地域からの距離等、利便性を考慮すべきではないか。

**答** 利用者の身近なところでサービス提供したいため、能代地域を3分割したい。住所地を担当するセンターでの対応を基本とするが、個々の事情に応じて柔軟に対応できるようにしたい。

**質** 当該法人の事業所などを囲い込んでサービス提供することが問題視されているが対処はどのようにするのか。

**答** 公正かつ中立が確保され適正な運営でなければならぬ。市では各センターに指導・助言を行っていくほか、連絡会議などを通じて情報共有や協力体制等、広い視野で対応できるように積極的に関与していきたい。

**質** 今年10月1日から始まるB型肝炎の予防接種は、4月1日以降に生まれた0歳児が対象だが、27年10月2日から28年3月31日まで生まれた0歳児が対象とならないのは不公平感があるのでは。

**答** 市独自助成の考え方はいろいろあるが、対象者については国の定めに基づき、4月1日以降に生まれたものである。

**質** 子ども館の知育玩具の購入について。

**答** 匿名でいただいた寄附により木製の立体パズル等を購入する。

**質** 学校給食施設の修繕費の概要について。

**答** 北部共同調理場の冷凍機の交換、南部共同調理場の塵芥処理機、空調設備等の修繕である。

**質** ニツ井公民館講堂玄関補修工事の概要と時期について。また、工事中は講堂の利用はできるのか。

**答** 階段部分を取り壊し、再構築を行う工事であり、利用実績の少ない12月から1月の冬期間を考えている。工事期間中は、避難路の確保が難しいことから利用の休止を考えている。

### 【事務の調査】

学校給食費の改定について、近年生産資材の引き上げによる食料費の影響が大きく、食料選定に大変苦慮している状況にある。共同調理場運営委員会からは、安全安心なおいしい給食を提供するために改定はやむを得ないという意見があり、29年4月の実施に向けて検討を行う。(落合康友)



## 産業建設委員会

**質** 浅内南部地区の給水の普及状況について。

**答** 加入率は66・7%であり、昨年度に比べ4件ふえている。今後水道の安全、安心をPRしながら加入促進に努めたい。

**質** 水道事業の今後の企業債の見通しについて。

**答** 企業債の残高は19年度末をピークに減少、27年度末の企業債の残高は、約60億円余りとなっている。今後、北部地区の拡張工事による借り入れで一時的に増加するが、その後、徐々に減少していく。

**質** 下水道事業の今後の企業債の見通しについて。

**答** 27年度末の企業債の残高は117億円余りとなっており、33年度には企業債の残高が約135億円余りでピークになると見込まれ、その後、徐々に減少していく。

**質** 下水道使用料を改定したことによる影響について。

**答** 今後約10年間は収益的収支において純利益が見込まれる。

**質** 熊の出没状況等について。

**答** 熊の出没状況については、8月末現在120件で、熊の捕獲数は14頭である。熊を捕獲するおりの数についてはおおむね足りている。

**質** 鳥獣被害対策実施隊の年齢構成と後継者の育成について。

**答** 同実施隊員56人のうち70代が19人、60代が23人で、60代以上が42人である。隊員の高齢化が進んでいる状況で、後継者の育成については、猟友会と連携の上、検討したい。

**質** 農業法人確保・育成事業費補助金について、法人化への積極的な働きかけを行うっていくのか。

**答** ほ場整備を契機とした農地集積により地元の事業費負担が減ることから、ほ場整備事業実施地区については、法人化と法人等への農地集積を進めていきたい。



### 【事務の調査】

水道事業と鶴形簡易水道事業の統合について、準備が整えば29年度にも統合したいと考えているが、拙速だということであれば、30年度以降の早い時期に、ということも考えている。地域住民に対する説明は、これから行うこととしており、しっかりと周知を図りたい。

(小林秀彦)